

実技授業の運営

音楽 岸 啓子

1. 授業の概観

小S音楽は、音楽教員7名全員が全受講生を7等分してクラスをつくり、1人の教員が1クラスを学期を通して教えている。授業目的は小学校音楽授業の音楽の知識技能養成であり、内容は実技で、ピアノ伴奏および弾き歌いを中心に、必要な音楽理論を段階的に習得してゆくものである。教材は幼児や低学年むけのものから始まり、段階的に難度を増すが、後半は自分で探してきてよいことになっている。学生は1クラス全員が授業開始時から終了時まで当然のことながら教室にいて、一人ずつピアノの前に座って1週間の練習の成果を発表し、教員の指導を受ける。伴奏の学習では、受講生が学生のピアノ演奏に合わせて歌唱する。出席点は加算しないが、授業時間内での演習・レッスンが進歩や成果に直結するので、まじめに受講することが望まれる。また、他の受講生の前での演奏発表があるので、授業準備（ピアノ練習）に時間をかけてくる学生も多い。受講生数は8名でいずれも学教2年生であった。

2. 授業評価法

質問紙による5段階評価。

5 強く思う 4 そう思う 3 どちらとも言えない 2 そう思わない
1 強く思わない

- 問1 この科目に意欲的に取り組みましたか。
問2 あなたの出席状況は良好でしたか。
問3 この授業の予習をしましたか。
問4 授業の目的にあった授業形態・内容でしたか。
問5 実技授業として1クラス規模は適当でしたか。
問6 担当教官の説明はわかりやすかったですか。
問7 授業の中で発表や質問の機会は与えられましたか。
問8 この授業のレベルはあなたにとって適当でしたか。
問9 ピアノ練習室は使いやすかったですか。
問10 この授業の中で他の受講生の音楽を聴くことで得るところがありましたか。
問11 あなたにとってこの授業を受講した意義はありましたか。

- 問12 この授業小S音楽の内容は、実技中心が良いと思う。
問13 この授業の内容には、理論や鑑賞など教員採用に出題される筆記試験に対応できるものがもっと含まれているほうが良いと思う。
問14 この授業のシラバスを読んだ事がありますか。
問15 この授業でよかったと思われる点があれば書いてください。（自由記述）
問16 この授業で改善すべき点があれば書いてください（自由記述）
問17 練習室に関する事で改善する方がよいと思われる点があれば書いてください。

3. 授業評価結果

| 問 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|----|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 4 | 1 | 1 | 0 |
| 2 | 1 | 5 | 2 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 7 | 1 | 0 | 0 |
| 4 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 1 | 7 | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 2 | 5 | 1 | 0 | 0 |
| 7 | 3 | 4 | 1 | 0 | 0 |
| 8 | 2 | 4 | 1 | 1 | 0 |
| 9 | 2 | 5 | 0 | 1 | 0 |
| 10 | 2 | 5 | 1 | 0 | 0 |
| 11 | 3 | 5 | 0 | 0 | 0 |
| 12 | 3 | 2 | 3 | 0 | 0 |
| 13 | 0 | 1 | 4 | 3 | 0 |

4. まとめ

最初に理論を集中的に2コマ実施すると、受講生が大幅に減った。提示方法を今後工夫したい。

1・2・3問の意欲と出席、予習は自分の持つ他の授業より良好で、4・5 授業形態・規模についてもこれでよいとされている。6 自身の課題である説明のわかりやすさについても、ここでは他の授業よりわかりやすいとされた。個人レッスン形態で、対話形式の進行で質問もしやすかったようである。授業内容について、実技か教員採用試験向けの理論のいずれに重心をおくか希望をたずねたところ、音楽科の現行方針どおり実技中心を望む声が多数であった。